

## 行事に参加するための支援



非日常の取り組み(特に発表会や運動会)については、参加の仕方や内容について保護者と一緒に考えたり、事前に見に来てもらうなど協力をしてもらい共にすすめていきます。無理に参加させようとせず、部分的にや、こどもなりに満足感が持てる参加方法を見つけます。また、することを予め写真やビデオ等で見せることで、全体のイメージがもちやすく安心して活動に参加しやすくなります。

### 〔児童の姿〕

行事のため部屋が普段と異なると、泣いたり大声を上げて部屋に入れない。集会や行事の時に部屋から出て行く。

### 〔具体的支援〕

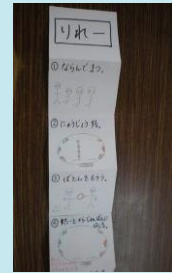
・事前に普段と違うことを知らせておいたり、行事の前には会場の様子を見せておく。  
・内容について、前年度の取り組みの写真やビデオ等で様子を知らせておく。

### 〔具体的な状況〕

・慎重ではあるが入室している。いつもと違った雰囲気では落ち着かないが会場の様子を事前に見たことで少しずつ表情も落ち着きをみせる。

運動会、発表会など活動の流れを理解し取り組むことが難しい。自分の出番以外にもしゃべったり、舞台内を歩き回り落ち着かない。

・全体のスケジュールと出番の流れや内容がわかるようにカードで伝え確認する。⑭ ⑮  
・待ち時間は落ち着けるスペースで安定して待てるようにする。  
・気の合う友だちとペアを組んで活動に参加する。



・折りたたみ式の視覚支援カードに座る位置や並ぶ順を細かく示すことによって、安心して活動に参加している。  
・日頃から関係ができていた友だちとなら、手をつないで安定して一緒に過ごしている。

行事で椅子に座って参加しているが、手を叩いたりびよんびよん飛び跳ねたりする。

・触覚を刺激するマッサージグッズや好きなおもちゃを(手のひらサイズの物)を持たせる。

・感覚刺激グッズを触ったり握ったりしながら、静かに椅子に座っている。

所外保育など保育所の外に出かけると、不安になったり興奮状態になる。

・事前に写真や行程表を使って行き帰りのルートや乗り物、現地での活動を確認しておく。⑬

**手を叩く、飛び跳ねるなどの揺れ刺激は手のひらの触覚刺激をいれることで落ち着くことができます。**

・写真で見た場所などを見つけると「あった！」と言って喜んでみたりしパニックにならずに行動している。

**こどもの特性から興奮しやすい場所や聴覚過敏などで不安にないやすい場所は予測しておき対処の方法(イヤーマフを使用する・不安な時はきつく抱きしめるなど)を考えておきます。**